

■H25.5.11 勉強会<沼津駅周辺地区>第5回 傍聴者アンケート結果(公開「可」)の記載があったアンケート)

No	本日の勉強会についてのご意見	PI プロジェクトに関するご意見
2	<ul style="list-style-type: none"> ・代替素案が出てきたことで、会場がさわぎはじめた。 ・理論的に、沼津のインフラ整備の最善策は高架化である。それをひっくり返そうとあれこれ詭弁を並べる。予想通りの展開となった。 ・どうやってまとめていくのか疑問である。平行線のまま時間だけが過ぎていくのだけは避けてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同勉強会は、この調子ではどんな展開になるか。心配である。
3	<p>1. 配付資料について(資料4.P11、12) 戦略案の①事業内容、②工事期間、費用に疑問有り⇒代替案の劣性を強調するものにほかならない(3/末の国の借金991兆円) ①検討用につき・・・とあるが、人口減が予想される中、また、新道路開通を考慮すれば、あまね、三つ目ガードは現場の拡幅で対応すれば十分と考える。(オーバーパスは、静岡のように郊外とすべきだ。) ②そうすれば、期間の短縮と費用の削減が出来る。(大幅に) 2. 各グループの討議結果報告に関連して、A・B案についての突込みが不足、もの足りないと感じた。</p>	<p>1. 市・県の建物が、来年までに相次いで完成する。という事実をもっと念頭に置いて議論していくべきだと考える。(優先順位を考えてもらいたい。) ◎社会経済財政情勢の変化を重視してもらいたい。 2. ステップ2の最終報告で、「沼津まちづくり」に係る意見がまとめられていることを踏まえ、沼津市内各地で、鉄道高架VS代替案(橋上駅)の何れが良いのか、ジンポジウムを開催したら如何。周知方法:自治会の回覧板・広報ぬまづ など</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト・期間について提示してくれたのは良いが、先ず、評価基準の個々に入れるべきである。 ・従って、各事業個々のコストの試算を提示し、皆様の選択肢を広げるべきで、その総合コストを県として出すべきではない。 ・高架事業の全てが、沼津市の活性化の手段ではないので、他事業案の基準とすべきでない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県が案として出されると、どうしても議論の中心となるので、期間の心配はあるが、参加者の意向を重視して進めるべきである。 ・一番重要なのは、「沼津市の活性化をしたい」と言う共通認識の為の手段、議論とすべきである。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・本日提案のありました、A1、A2、B1、B2案についてですが、B1、B2の個別案については、フラットな提案から始めて、個別事業、積み上げ方式にすべきであって、最初から合計金額、合計期間の提示はすべきでないと思います。 	
6	<p>①総合整備型第1案、第2案は、「貨物基地移転」を前提にしていますが、現知事は、用地の「強制収用はしない」と断言していて、貨物基地移転は、実現の可能性のない「空論」であるように思います。 ②議論のテーマをふくらませ過ぎて、收拾がつかない傾向があるように感じました。原点に帰って整理し、焦点を合わせる必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>①大型公共事業は、財源問題は避けて通れないことです。日本は、今、「2050年問題(老人国)」に直面しています。「超高齢社会」を迎え、歳入は減る一方で、福祉年金の歳出は増大し、債務対策も課題となります。コスト感覚をもって、事業評価の出発点にしてもらいたいと思いました。 ②初めて傍聴席に座りましたが、ほとんど議論が聞こえない。テーブルの近くに移動させてもらいたい。机がじゃまになるようだったら、椅子だけで、テーブルの外周を囲むようにして、各テーブルの移動も回れないだろうか？ルールは遵守する前提で。</p>